

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県大垣市 大垣市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透Ⅰ未訓ガ	救臨が感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
158,049	79,046	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 Ⅰ…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 ガ…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
771	－	40
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
－	6	817
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
662	－	662

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－	年度	－
－	年度	－

I 地域において担っている役割

西濃医療圏域の中核的基幹病院として、高度で専門的な医療施設や医師・歯科医師臨床研修病院の環境を整備しており、西濃医療圏内唯一の救命救急センターでは、24時間体制で一次から三次までの救急医療を実施するとともに、地域がん診療連携拠点病院をはじめ、地域災害拠点病院、岐阜県地域周産期母子医療センター、小児救急医療拠点病院等の指定・認定を受け、質の高い医療を提供しています。
今後も圏域において、高度医療及び急性期医療の中心的役割を果たしてまいります。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが変更されたことにより、関連する補助金の収入が大幅に減少し、経常収支比率が前年度よりも低下したものの、収支比率100%を上回っており、黒字経営を維持できました。
入院は高密度医療の維持による高い医療係数での算定を目標に取り組み、外来では化学療法件数の増等もあり、患者1人当たりの収益は増加しております。
今後もDPC制度を正しく理解・運用することで診療行為に見合った診療報酬請求に努め、収入増加・確保を図るとともに、材料費等の物価高騰対策として、医療コストの見直しを実施し、経費削減に努めてまいります。

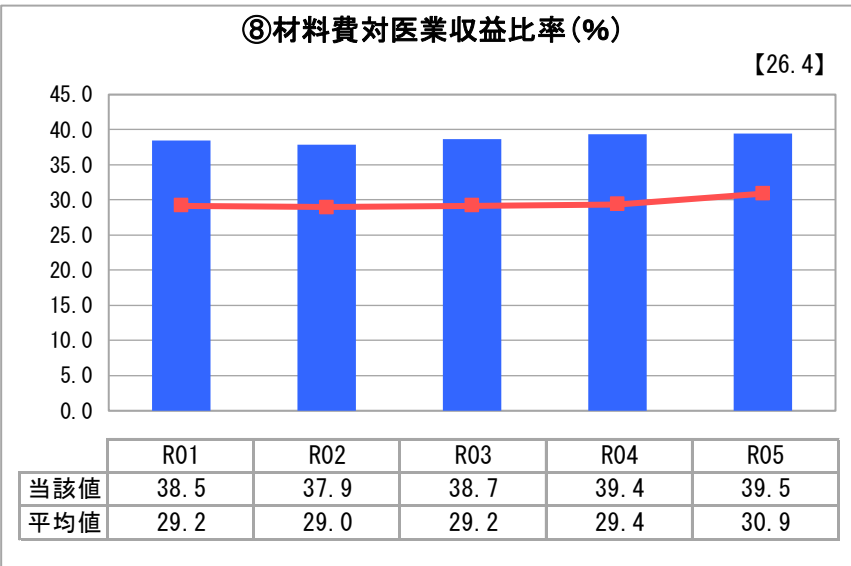
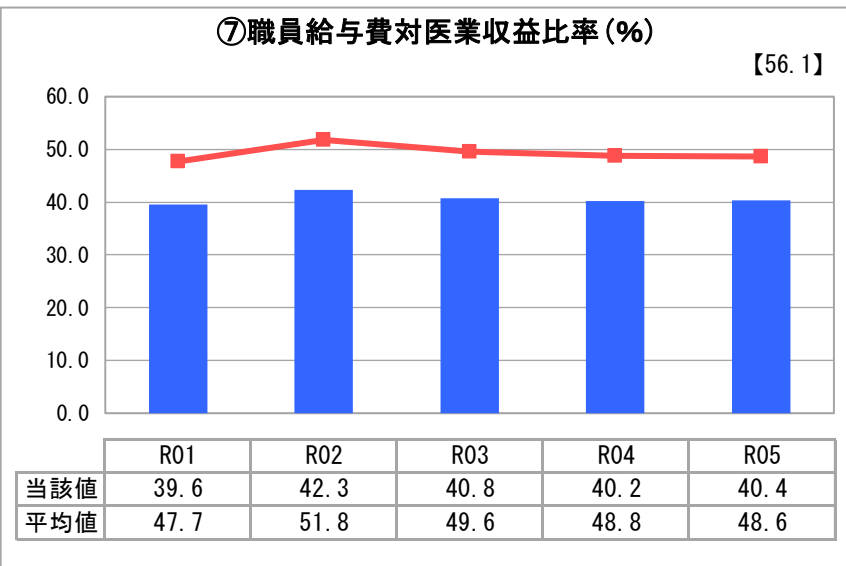
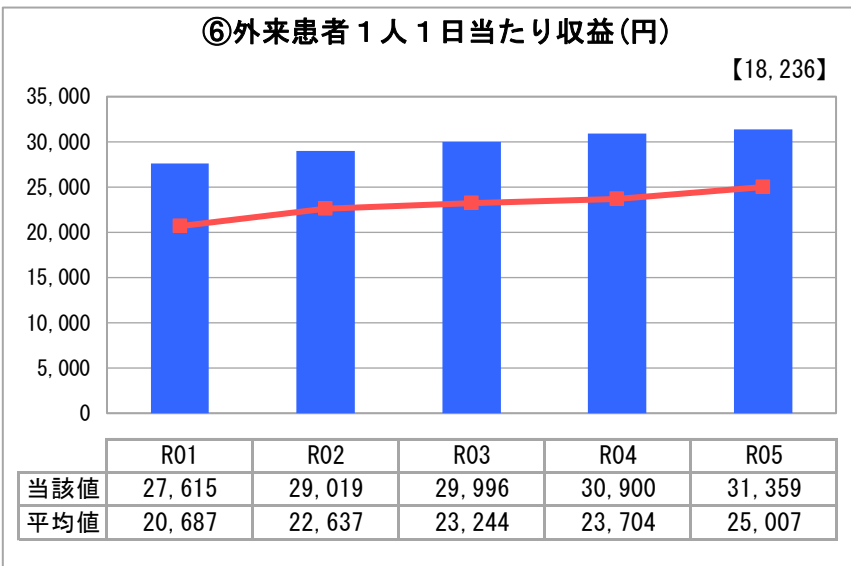
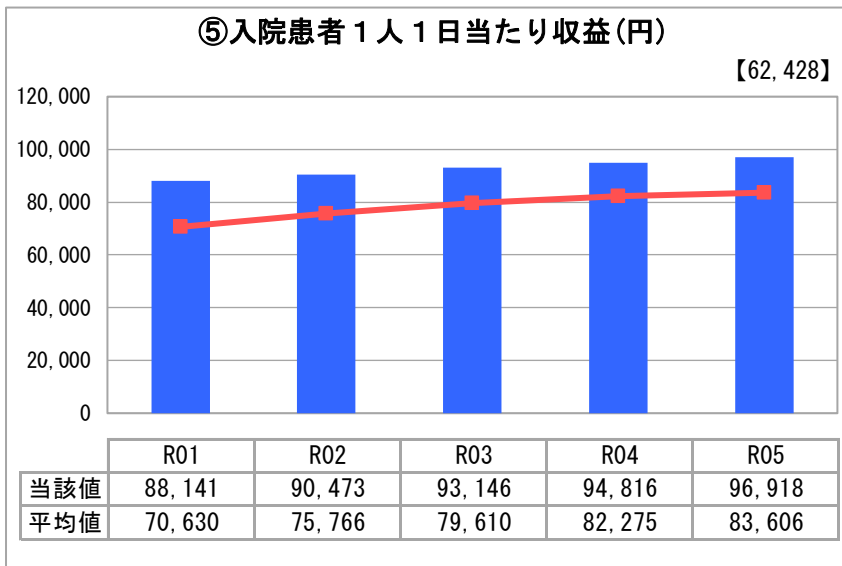
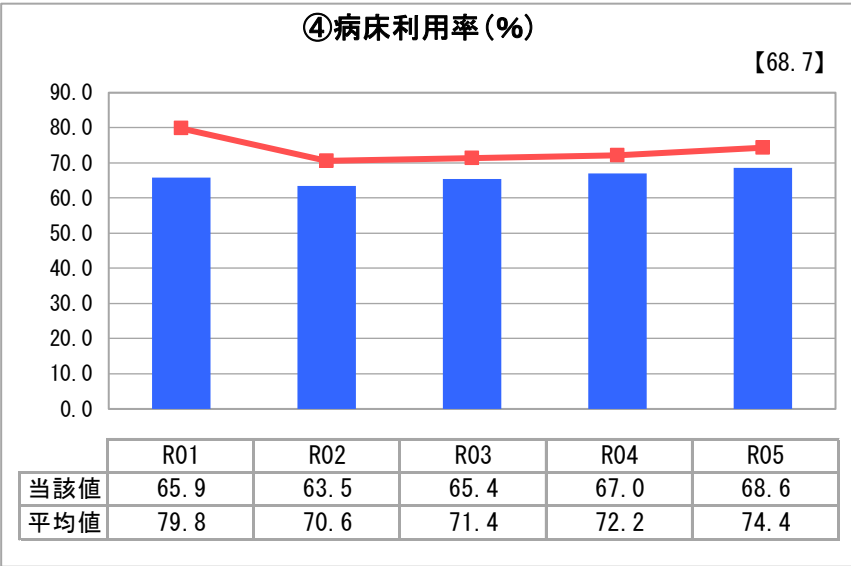
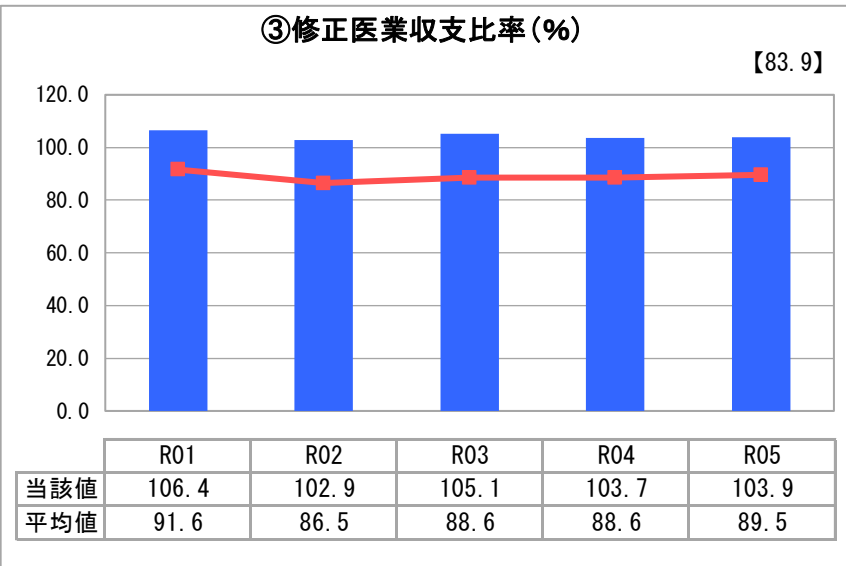
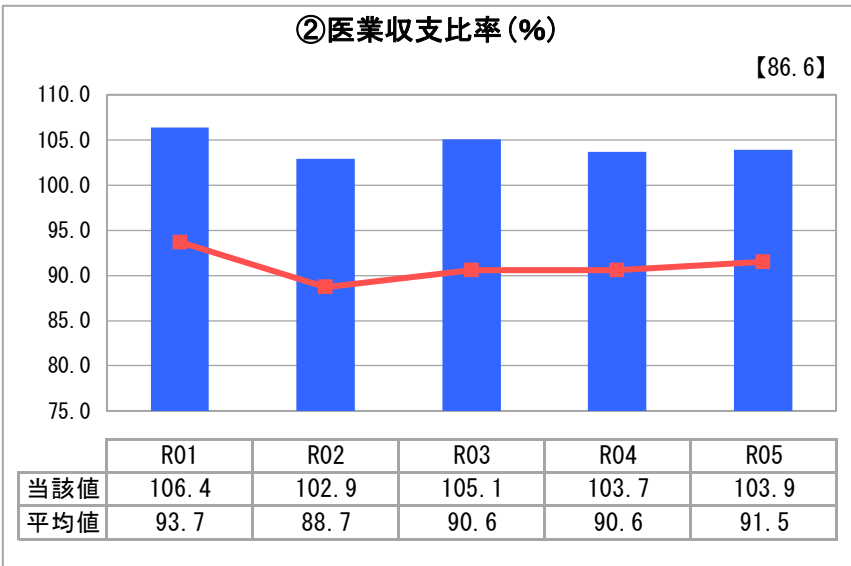
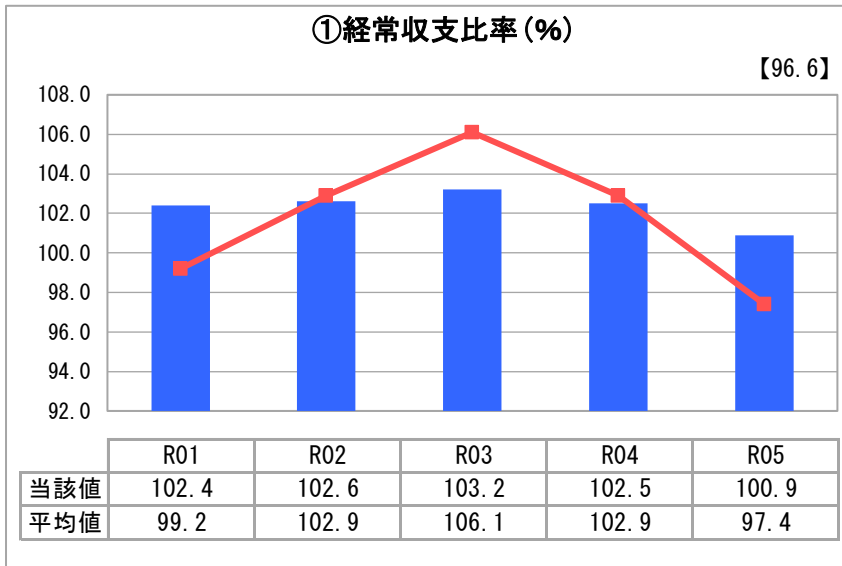
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに平均値を上回っており、老朽化が課題となっています。
今後施設全体の整備を見据え、大垣市民病院施設整備計画に基づき、まずは、熱源設備や空調用冷温水等を供給する施設であるエネルギーセンター棟の改築に向け、設計業務が完了しました。
高度医療機器の導入等についても、費用対効果を見極めながら、良好な医療の提供ができるよう計画的に推進していきます。

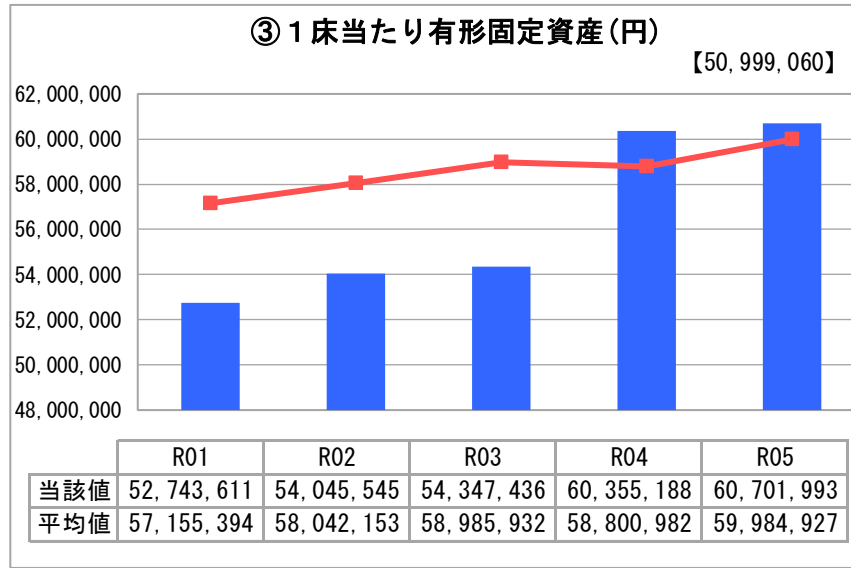
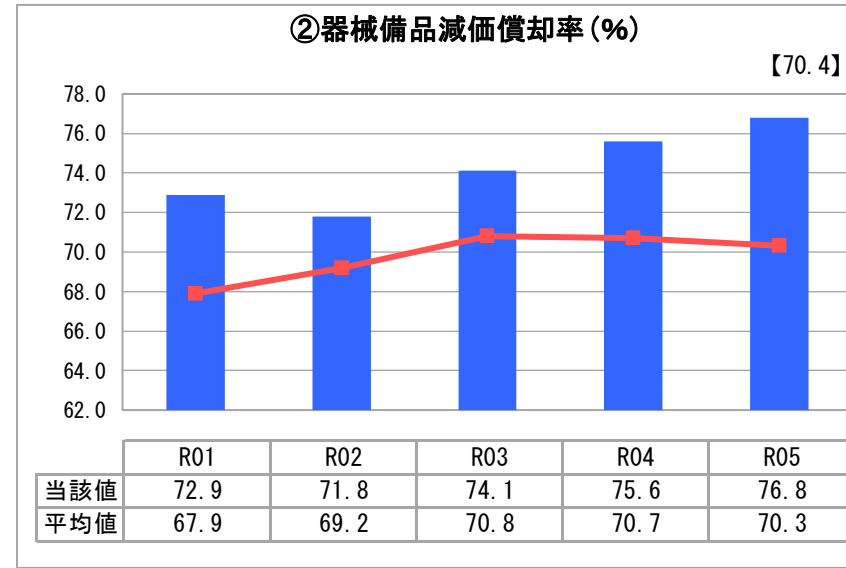
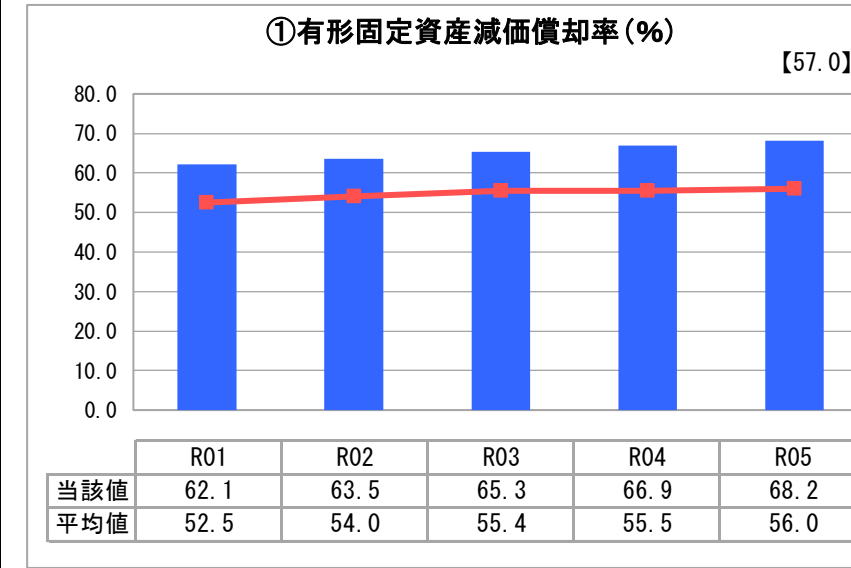
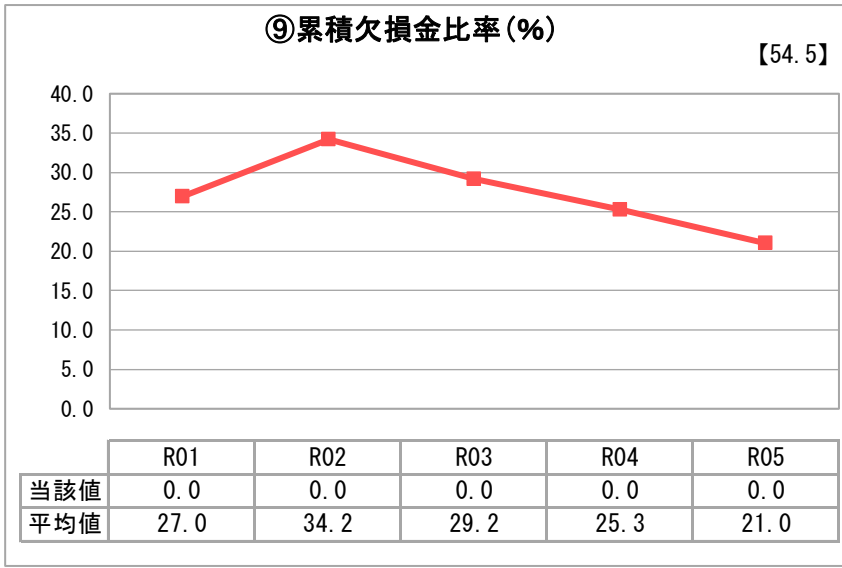
全体総括

令和5年度は黒字経営を維持できましたが、今後は労務単価や物価の高騰により人件費や材料費、委託料等の費用増大がさらに見込まれるため、医療コストの見直しを実施するとともに、地域住民に求められる医療機能を維持するため、現況の体制維持に努めてまいります。
また、令和5年3月に策定した「大垣市民病院経営強化プラン」（計画期間：令和5年度～令和9年度）に基づき、引き続き専門的かつ安心で安全な医療を提供するとともに、公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。